

様式第2号（第5条関係）

平成28年12月28日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 佐藤則男 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年11月22日 ～ 平成28年11月22日まで
- 2 旅行先 東京都 所田市
- 3 目的 所田市 公会計について
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 28 年 11 月 22 日 10 : 00 ~ 12 : 00
視 察 先	東京都町田市議会事務局
調査事項	町田市公会計について
対 応 者	町田市役所 鎌田課長他3名
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	町田市公会計について 町田市へ勉強に行く前に、公会計について勉強したかなかなか難しいと思った。 減価償却は、間接法で、定額法で減価償却累計額という言葉も初めてであった。町田市の課別、施策別行政コスト計算書についても、基礎的な勉強をきちんとしてからと思います。まず財務諸表4票について、民間と公会計の違いを整理した。民間は、貸借対照表、損益計算書、株式資本変動計算書、キャッシュフロー計算書であり、会社法では、キャッシュフロー計算の代わりに、個別注記票であるが、公会計では、損益計算書の代わりに、行政コスト計算書、株式資本変動計算書の代わりに、純資産変動計算書である。また、今のところ公会計では、栗山所が採用している基準モデル、総務省改訂モデル・東京都モデルなどありますが、よくわかりません。議長が、そういうスキルがいるのか?と質問したが、簿記三級程度と言っていた。財務諸表4票では、今までの官庁会計と違い、資産のことも一覧でき、フルコストで把握できるので、早急に勉強しなければならない、これから統一モデルになるようであるが、そうになると、他の市町村との

比較も容易になります。所田市方式をとると、施策別行政コストが、把握できるので、数字を基に検証ができるようになる。プライマリーバランスとかBパイル分析とか、新人議員にとっては、良く分からないことも多いが、早く勉強して、先輩に追いつきたいと思います。